

日本興行ニュース

発行 〒105-0004
東京都港区新橋6丁目8番2号
全国生衛会館6F
全国興行生活衛生同業組合連合会
日本興行ニュース
電話 03 (5408) 5446 (代表)
FAX 03 (5408) 5447
編集兼発行人 臼井正人

映画館での独占公開期間が焦点 ラスベガスで4日間に亘り開催

CinemaCon2025速報

毎年ラスベガスのシーザースパレスホテルで開催される映画興行者向けコンベンション「CinemaCon」(シネマコン)2025が3月31日から4月3日まで開催された。今回初参加となるAmazon MGMスタジオを加えた全7社による作品プレゼンテーションでは、豪華俳優陣が登場し、話題作の初映像が上映された他、新作試写会、各種セミナー、トレードショー展示が行われた。

脚本家のストライキによる公開作品数減少の影響が大きく、パンデミック以降初めて前年を下回る結果となった。

シネマコンの開催に先立ち、旧・全米劇場所有者協会(NATO)は「Cinema United」(シネマ・ユナイテッド)に改称し、新たなスローガンとして「映画館で映画を観ることこそが私たちの使命(Moviegoing is our mission)」を掲げている。

その会長兼CEOであるマイケル・オレアリー氏は基調講演で興行者と配給者に向け、「パンデミック以前の常識や、その間に採用された一時的な措置に固執することは、この偉大な業界全体の健全性を脅かすことになる。短期的な利益を追い求めて、業界の一部を他のセクターと対立させるような構造ではなく、共通の目標を認識し、調和のとれた仕組みが必要である。今こそ、私たちが得た知識と経験をもとに、次世代も繁栄可能なモデルを構築すべき時だ」と呼びかけた。同氏はパンデミック前の興行成績の安定性を取り戻すために映画館が抱える課題として、マーケティング、上映スケジュール、館内や売店の改装促進などを挙げる中で、最優先課題として「劇場独占公開期間シアトリカル・ウィンドウ」の見直しを挙げた。かつて主流だった90日間とは現在大幅に短縮され、これが観客の劇場離れを助長していると指摘。最低でも45日間のウィンドウの必要性を訴え、「『すぐに他のプラットフォームで観られる』という期待や現実が、業界全体の持続可能性を脅かしている。世界各地の興行収入の回復状況を見れば、ウィンドウ期間の長さが回復度合いに直結していることは明らかだ」と述べた。インターナショナルデーセミナーでも、2024年にパンデミック以降の回復が北米を上回ったラテンアメリカではウィンドウ期間が平均60日間、同じく回復が好調であったフランスは平均75日間であり、ウィンドウ期間の安定性が回復の速さのポイントであることが語られた。

また、同氏はパンデミック前後の年間トップ100本の映画の興収を比較するデータを示し、トップ20作品の興収が10%の減少に留まる一方、中小規模である残りの80作品は32%も落ち込んでいることや、パンデミック後、トップ20作品の平均公開期間は49日であったのに対し、その他80本の平均は31日まで縮んでいることを指摘。「もし、この80本の映画における収入減少をトップ20作品と同じ10%に抑えられていたら、年間ですらに10億ドルの興収が得られていたことになる」とし、中小規模の映画の公開期間を短くすることににより、「映画館に行く価値があるのは大作だけ」という印象を助長してしまっているとの警鐘を鳴らした。そして最後に、映画館が「再び訪れたくなる場所」であり続ける努力の必要性にも言及。観客体験の改善こそが、業界の持続可能な未来への鍵だとし、劇場と配給が一体となって進化することの重要性を改めて訴えた。その他、シネマコンの目玉イベントの一つでもある最終日の映画製作者特別プログラムでは、パラマウント・ピクチャーズの新作スリラー映画『The Running Man』のエドガー・ライト監督、キャストのグレゴリー・ペナルティ、ジョシュ・ブローリン、コルマン・ドミンゴが対談を行った。各社作品プレゼンテーションでは、トム・クルーズ、レオナルド・ディカプリオ、ベン・アフレック、ジャレッド・レト、ジェフ・ブリッジ、クリス・ヘムズワース、ライアン・ゴズリング、クリス・プラット、スカレット・ヨハンソン、ゾーイ・サルダナ、ジェイミー・リー・



兼CEO)、マーク・ヴィアン氏(パラマウント・ピクチャーズ国際配給部門代表) ■11時30分〜12時30分「映画館での体験：世代の好みの変化とデザインを活用してゲストの体験を最適化する機会」過去10年間で世界の映画館体験は飛躍的に進化した。国際映画市場の急速な拡大に伴い、テクノロジーとデザインが活用されてゲスト体験が劇的に向上し、映画館体験が屋外エンターテインメント支出のシェアを上回ることが保証されている。国際的なエグゼクティブとデザイナーによるこのパネルドイスカッションでは、進化する世代の期待に応えるように設計された上映ホール、飲食施設、アウトレット、VIP映画館のコンセプトの国際的な実践例を紹介するとともに、世界中で展開され、観客動員数、収益、

国内市場と国際市場、つまり世界市場がある。この2つの市場には多くの共通点があるが、ビジネスの捉え方や運営方法には本質的な違いが残っている。このセミナーでは、興行と配給の世界におけるこれらの違いを掘り下げ、両者に共通する問題やトピック、そして将来を見据えてこれらがどのように変化するか、又は変化しないかについて議論する。

モデレーター：マイケル・オレアリー氏(Cinema United 会長兼CEO) パネリスト：ジェフ・ゴールドスタイン氏(ワーナー・ブラザース・ピクチャーズグローバル配給部門代表)、アレハンドロ・ラミレス・マガンニャ氏(シネポリスCEO)、ティム・リチャーズ氏(ヴェュー・インターナショナル創設者兼CEO)、

シネマコン・アワード・オブ・エクセレンス・イン・シネマジョー・チャン氏(アンバサダー・シアターズCEO兼代表) ■10時30分〜11時30分「Globally Sp



また、同氏はパンデミック前後の年間トップ100本の映画の興収を比較するデータを示し、トップ20作品の興収が10%の減少に留まる一方、中小規模である残りの80作品は32%も落ち込んでいることや、パンデミック後、トップ20作品の平均公開期間は49日であったのに対し、その他80本の平均は31日まで縮んでいることを指摘。「もし、この80本の映画における収入減少をトップ20作品と同じ10%に抑えられていたら、年間ですらに10億ドルの興収が得られていたことになる」とし、中小規模の映画の公開期間を短くすることににより、「映画館に行く価値があるのは大作だけ」という印象を助長してしまっているとの警鐘を鳴らした。そして最後に、映画館が「再び訪れたくなる場所」であり続ける努力の必要性にも言及。観客体験の改善こそが、業界の持続可能な未来への鍵だとし、劇場と配給が一体となって進化することの重要性を改めて訴えた。その他、シネマコンの目玉イベントの一つでもある最終日の映画製作者特別プログラムでは、パラマウント・ピクチャーズの新作スリラー映画『The Running Man』のエドガー・ライト監督、キャストのグレゴリー・ペナルティ、ジョシュ・ブローリン、コルマン・ドミンゴが対談を行った。各社作品プレゼンテーションでは、トム・クルーズ、レオナルド・ディカプリオ、ベン・アフレック、ジャレッド・レト、ジェフ・ブリッジ、クリス・ヘムズワース、ライアン・ゴズリング、クリス・プラット、スカレット・ヨハンソン、ゾーイ・サルダナ、ジェイミー・リー・



また、同氏はパンデミック前後の年間トップ100本の映画の興収を比較するデータを示し、トップ20作品の興収が10%の減少に留まる一方、中小規模である残りの80作品は32%も落ち込んでいることや、パンデミック後、トップ20作品の平均公開期間は49日であったのに対し、その他80本の平均は31日まで縮んでいることを指摘。「もし、この80本の映画における収入減少をトップ20作品と同じ10%に抑えられていたら、年間ですらに10億ドルの興収が得られていたことになる」とし、中小規模の映画の公開期間を短くすることににより、「映画館に行く価値があるのは大作だけ」という印象を助長してしまっているとの警鐘を鳴らした。そして最後に、映画館が「再び訪れたくなる場所」であり続ける努力の必要性にも言及。観客体験の改善こそが、業界の持続可能な未来への鍵だとし、劇場と配給が一体となって進化することの重要性を改めて訴えた。その他、シネマコンの目玉イベントの一つでもある最終日の映画製作者特別プログラムでは、パラマウント・ピクチャーズの新作スリラー映画『The Running Man』のエドガー・ライト監督、キャストのグレゴリー・ペナルティ、ジョシュ・ブローリン、コルマン・ドミンゴが対談を行った。各社作品プレゼンテーションでは、トム・クルーズ、レオナルド・ディカプリオ、ベン・アフレック、ジャレッド・レト、ジェフ・ブリッジ、クリス・ヘムズワース、ライアン・ゴズリング、クリス・プラット、スカレット・ヨハンソン、ゾーイ・サルダナ、ジェイミー・リー・

また、同氏はパンデミック前後の年間トップ100本の映画の興収を比較するデータを示し、トップ20作品の興収が10%の減少に留まる一方、中小規模である残りの80作品は32%も落ち込んでいることや、パンデミック後、トップ20作品の平均公開期間は49日であったのに対し、その他80本の平均は31日まで縮んでいることを指摘。「もし、この80本の映画における収入減少をトップ20作品と同じ10%に抑えられていたら、年間ですらに10億ドルの興収が得られていたことになる」とし、中小規模の映画の公開期間を短くすることににより、「映画館に行く価値があるのは大作だけ」という印象を助長してしまっているとの警鐘を鳴らした。そして最後に、映画館が「再び訪れたくなる場所」であり続ける努力の必要性にも言及。観客体験の改善こそが、業界の持続可能な未来への鍵だとし、劇場と配給が一体となって進化することの重要性を改めて訴えた。その他、シネマコンの目玉イベントの一つでもある最終日の映画製作者特別プログラムでは、パラマウント・ピクチャーズの新作スリラー映画『The Running Man』のエドガー・ライト監督、キャストのグレゴリー・ペナルティ、ジョシュ・ブローリン、コルマン・ドミンゴが対談を行った。各社作品プレゼンテーションでは、トム・クルーズ、レオナルド・ディカプリオ、ベン・アフレック、ジャレッド・レト、ジェフ・ブリッジ、クリス・ヘムズワース、ライアン・ゴズリング、クリス・プラット、スカレット・ヨハンソン、ゾーイ・サルダナ、ジェイミー・リー・



映画館での心地よさを追い求め、
バリエーション豊かなラインナップを取り揃えました。



「資料請求・ショールーム見学のお問い合わせ先」
コトブキシーティング株式会社 シネマカンパニー
TEL. 03-5280-5607



（前のページから）
ゲスト体験に好影響を与えた革新的なデザインについて議論する。
司会…キヤメロン・ミッチェル氏（オーストラリア映画協会事務局長）
パネリスト…アラン・ベイルー氏（ユニック・コンサルティングディレクター）、ダミアン・キート氏（THE HOYTSGROUP代表兼CEO）、ダニエル・マッケイブ氏（イベント・シネマズオーストラリアオペレーションズゼネラルマネージャー）。
〈本プログラム〉
■9時〜14時45分Ⅱ「IC T A主催シネマシステムサミット」
シネマシステムサミットでは、現代の映画鑑賞体験を支える相互接続されたテクノロジーが集結する。映画の公開が決定した瞬間から、お客様が満足して劇場を後にする瞬間まで、無数のシステムが調和して動作し、完璧な映像、臨場感あふれるサウンド、そしてシームレスなサービスを提供する。このサミットは、業界全体でオープンな議論と知識共有を促進するインタラクティブなセッションとして、映画制作プロセスに関わるすべての人々に、それらを可能にする複雑なシステムに関する貴重な洞察を提供することを目的として設計されている。劇場管理システム、POSシステム、技術者サポートの社内対アウトソーシング、ネットワークセキュリティなど、様々な技術的なトピックについて議論する。
■11時〜14時45分Ⅱ「独立系映画館オーナー連合（ITOC）プログラム」
シネマ・ユナイテッド会員の独立系映画館オーナーおよび運営者向けプログラム。小規模映画館、非営利団体、アートハウスの運営者が有意義な議論を行い、ネットワークを構築し、経験を共有し、独立系映画館業界の未来に貢献する。
■15時〜16時Ⅱ「未来をリフレッシュ…次世代の映画館を後押しするために、Z世代のトレンドと業界インサイトから映画館の未来を読み解く」
映画館の未来を形づくる最新のマクロトレンドや業界インサイトを探る本セッションでは、映画体験の将来に影響を与える主要な動向や新たなパターンを網羅的に紹介し、映画館業界の発展に向けた包括的な視点を提供する。Human8によるインサイトをもとに、リーダーたちが劇場のコンセプションの提供価値を高め、顧客満足度を向上させ、収益を伸ばすためのデータ主導の戦略が紹介される。さらに特別ゲストとして、脚本家・監督・プロデューサーであり、コカ・コーラ・リフレッシュ・フィルムズ・プロダクション・フィルムズの卒業生でもあるトレイシー・オリバー氏が登壇。彼女は、全米で1億ドルを超える興行収入を記録し、黒人女性として初めてこの快挙を達成した映画『ガールズ・トリップ』の脚本家として知られている。
司会…エリック・ブルーメンタール氏（コカ・コーラ社カスタマーバリュ担当副社長）
インサイト提供…エミリー・ロジャース氏（コカ・コーラ社戦略的インサイト担当副社長/Human8）
ゲスト…脚本家・監督・プロデューサー・トレイシー・オリバー氏（コカ・コーラ・リフレッシュ・フィルムズ・プログラムの紹介あり）
■17時15分〜18時15分Ⅱ
ソニー・ピクチャーズエンタテインメントとBarcoによるカクテルレセプション
■18時30分〜20時45分Ⅱ
ソニー・ピクチャーズエンタテインメントによる作品プレゼンテーション
■21時〜23時Ⅱドルビーラボラトリーズによるザ・クロムウェル・ホテルのナイトクラブ「Draï」でのオープニングパーティ
【4月1日(火曜日)】
■9時〜11時30分Ⅱ「THE STATE OF THE INDUSTRY（業界の現状）」とスタジオブレゼンテーション
▽開会の辞…エリッサ・フェデロフ氏（NEON最高配給責任者）
▽DLPシネマによる「映画で振り返る2024年」2024年のヒット作品を紹介。
▽Cinema Unitedマキー賞授賞式…シネマーク社長兼CEOのシーン・ギャンブル氏が受賞
▽基調講演…MPAA会長兼CEOのマイケル・オレアリ氏、B&BシアターズCEO/Cinema United会長のボブ・バグビー氏
▽ICTAのマーク・メイフィールド氏、EF&B/NACのロブ・ノヴァク氏より謝辞
▽ライオンズゲートによる作品プレゼンテーション
■14時30分〜15時30分Ⅱ
「業界シンクタンク」2025年
映画業界（配給、興行、製作）のエグゼクティブに

よるパネルディスカッションでは、映画館業界の現状について率直に語り合い、現在・未来・そしてその先にわたって業界に影響を与える重要かつタイムリーな課題に焦点を当てる。
司会…マシュー・ペロニ氏（Puck News 創業パートナー/ポッドキャスト「The Town」ホスト）
パネリスト…エドワード・アクーニャ（リーガル・シネワールド・グループCEO）、ジョセフ・コシンスキー氏（映画監督『F1』『トップガン・マーヴェリック』）、ピーター・レヴィンソン氏（NBCユニバーサル・エンターテインメント&スタジオグローバル配給部門会長）、トム・クイン氏（NEON創業者兼CEO）
■16時30分〜18時30分Ⅱ
ワナー・ブラザース・ピクチャーズによる作品プレゼンテーション
■18時45分〜20時45分Ⅱ
シーザーズパレスホテルブルサイドにてFandangoの25周年を祝うパーティ
【4月2日(水曜日)】
■8時〜9時Ⅱ「エンジェルスタジオによるプレゼンテーション…パートナーシップを祝うエンジェル・ギルドをフィーチャー」
映画館経営者や観客とのパートナーシップのもと、エンジェルスタジオは映画鑑賞体験の再定義に取り組んでいる。急速に拡大するエンジェル・ギルドの成長により、エンジェルスタジオは映画業界において独自の地位を築き、安定した興行収入を誇る存在としての地盤を固めた。本セッションでは、同スタジオの興行的成功を支える中核、「エンジェル・ギルド」にフォーカス。これは、エンタメ業界を根本から変革する、観客主導型の革新的なコミュニティである。2025年から2026年までの公開作品ラインナップ、未公開映像を届ける。
■9時30分〜11時30分Ⅱ
ユニバーサル・ピクチャーズとドリウムワークス・アニメーションが贈る「ヒックとドラゴン」試写会
アカデミー賞に4度ノミネートされ、世界累計興行収入16億ドルを突破する『ヒックとドラゴン』シリーズ初の実写化。2025年9月5日、日本公開。
■15時45分〜17時30分Ⅱ
ユニバーサル・ピクチャーズとフォークラス・フューチャーズによる作品プレゼンテーション
■17時45分〜19時30分Ⅱ
オムニアナイトクラブにてMoviephoneの25周年を祝うパーティ
■20時15分〜22時ⅡAmazon MGMスタジオオによる作品プレゼンテーション
【4月3日(木曜日)】
■8時〜9時Ⅱセミナーシリーズ
▽ICTAセミナー「興行におけるAI…テクノロジーとオペレーションの変革」
AI（人工知能）は、ホー



ムシアター業界をはじめ、さまざまな分野に変革をもたらしている。では、映画館の興行ビジネスはAIによってどう変わるのだろうか？高度な観客分析、ダイナミックプライシング、自動化されたカスタマーサービス、映写の最優化など、コンピュタービジョンを活用したAI技術は、観客の映画体験を一変させ、映画館経営者に新たな価値を提供する。このセッションでは、AIがすでにどのよう映画館の技術と運営を強化しているかを紹介し、さらに未来のイノベーションについても深掘りする。映画館運営者、テクノロジープロバイダー、配給会社など、どの立場の人にとっても、AI時代の映画館業界と鑑賞体験の未来について貴重なインサイトが得られる機会となる。
司会…トニー・アダムソン氏（GDCテクノロジー・アメリカンSVP）、パネリスト…ハリシュ・アナンド・ティラカン氏（Influx CEO）、ノーマ・ガルシア氏（NRJ Media Group CEO）、キラン・ハヌマイア氏（Malco Theatres 情報技術担当VP）、マシュー・リブマン氏（Vista Group チーフプロダクト&マーケティング・イノベーション責任者）、アラン・ロー氏（Jacrotapos CEO）、ジェフ・ローゼンフェルド氏（Cinemark デジタル&カスタマーエクスペリエンス担当SVP）、オットー・タートン氏（Vue チーフ・コマーシャル・オフィサー）

ト・ウィラード氏（Regal Cinema事業開発統括VP）
■10時〜11時30分Ⅱ
マウント・ピクチャーズによる作品プレゼンテーション
■12時15分〜2時Ⅱ映画製作者特別プログラム「クリエティブコミュニケーションから見る業界インサイト」
パラムウント・ピクチャーズの新作スリラー映画『The Running Man』の監督であり、数々の受賞歴を誇るエドガー・ライト監督、そして出演キャストのグレン・パウエル、アカデミー賞ノミネート俳優ジョシュ・ブローリン、2度のアカデミー賞ノミネート俳優コールマン・ドミンゴが登壇し、CinemaCon恒例のクリエティブ・コミュニケーション・ランチョンを盛り上げる。司会は映画評論サイト『Rotten Tomatoes』のエディターであるジャクリン・コリーが務めた。
■14時30分〜16時30分Ⅱ
ウォルト・ディズニー・スタジオによる作品プレゼンテーション
■19時30分〜21時Ⅱコカコーラ・カンパニー主催『ビッグ・スクリーン・アチーブメント・アワード』授賞式
司会は文化芸能情報番組『Entertainment Tonight』

のホストであるKevin Frazierが務めた。
【受賞結果】
ワスター・オブ・ザ・イヤール・グレン・パウエル
▽映画界における卓越した10年の功績賞（Distinctinguished Achievement in Film）
チャニング・テイタム
▽アクション・スター・オブ・ザ・イヤールアナ・デ・アルマス
▽CinemaConヴァンガード賞（リッジ・ローハン）
▽シネマ・アイコン賞（マーク・ハミル）
▽コメディ界功労賞（チャーチ&ジョン）
▽ネクスト・ジェネレーション賞（デヴィッド・ジョンソン）
▽2025年ライジング・スター賞（マデリン・マグローウ）
■21時〜22時30分Ⅱ授賞式アフターパーティ



■14時30分〜16時30分Ⅱ
ウォルト・ディズニー・スタジオによる作品プレゼンテーション
■19時30分〜21時Ⅱコカコーラ・カンパニー主催『ビッグ・スクリーン・アチーブメント・アワード』授賞式
司会は文化芸能情報番組『Entertainment Tonight』



■21時〜22時30分Ⅱ授賞式アフターパーティ



丸の内TOEIヒストリーツアー
2025年、青年部研修会を開催

2025年の全興連青年部主催による研修会として、3月26日に丸の内TOEIにて、同館のバックステージツアー「丸の内TOEI」から巡る東映本社と劇場ヒストリーツアーが開催された。

7月27日をもって閉館が決まり、64年の映画館の歴史に幕が下りようとしている丸の内TOEIのバックヤードの導線や映写室、東映会館の建築構造などを東映興行部の小林恵司氏、水野学氏に話を伺いながら実際に内部を歩く館内見学が行われた。研修会後には、美須アレックスandro青年部部長の挨拶ののち、osateria Barababao銀座で懇親会が行われた。



■劇場裏導線見学

▽丸の内TOEI②舞台上

舞台挨拶を行う際にスクリーン裏からスクリーンの舞台上に上がる導線を体験。TOEI①よりこじんまりした舞台挨拶を行う。

▽TOEI②映写室

当時は幕間に次回上映する予告を放送室から館内放送を行っていた。放送室は劇場内だけの放送設備で、①と②の両方に設置している。現在は使っていない。

▽丸の内東映バラス支配人室

丸の内東映バラス時代は営業形態が全く違い、東映系と洋画系と上映が別々だった時代に使用。現在は使用していない。

▽丸の内TOEI①舞台上

ほとんどの東映作品の舞台挨拶は、TOEI①で行う。俳優は上の階の会議室が控室になっているので、エレベーターで舞台裏まで降りて、階段で待機し、舞台裏から登壇する。

▽TOEI①映写室

急階段を降りると映写室。お宝な作品のものがあってもきれいなファイルの切れ端が落ちているという。



■東映会館見学

▽1階

1960年に東映会館が竣工された時からの大川博初代社長の手形が現存する。この手形は移転先にも持つていくことが決まっている。

▽2階

岡田裕介社長も利用していたという平成3年4月にできた理容室がある。営業中はサインポールが点灯する。6月末くらいまで営業を予定。

▽3階

東映フーズが使用していた倉庫。今は会議室と



として使用している。3階と4階の間にトイレを設置。1964年の東京オリンピックにピクトグラムができたと言われているため、1960年に竣工した東映会館のピクトグラムは珍しいデザインになっている。

▽4階

食堂「Luncheon Plaza」。現在は使用されていない。

▽5階

5階から上はオフィスフロア。ヒーローや戦隊ものなどのヒーローショーやイベントを担当している事業推進部、映画のグッズや商品の開発を行っている商品事業部がある。仮面ライダーや戦隊シリーズのブランド価値をどうやったら上げられるかを考えるキャラクター戦略部などもある。労働組合の部屋もある。

▽6階

国際映像部や教育映像部など二次利用を担当する部署、そして第2試写室がある。

▽7階

映画営業部や映画興行部、映画宣伝部など映像

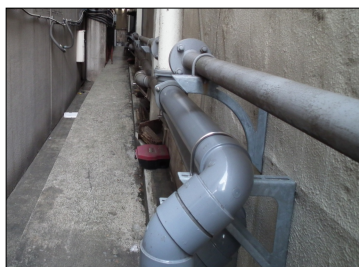


部門がある。作品のチラシやポスターを作成している関連会社の三映印刷も同居。第1試写室もある。

▽8階

総務部、社長室がある。▽東映会館給湯管配管

建物横に給湯管の配管が通っている。週1回の頻度で朝6時から6時半頃にタンクローリー4トン車が来る。多い時には4000リットルの暖房用の重油を入れている。



▽タンク室、防災センター

地下にある屋内タンク貯蔵所。仮面ライダーがプリントされたヘルメットを着用する。防災センターには、1人または2人が宿直で残る部屋を設置している。

最後は屋上に上がり、数々の作品のヒット祈願が行われてきた場所であり、歴代の社長が奉納された鳥居がある東映稲荷神社の前で記念撮影をしてバックステージツアーは終了した。

■美須アレックスandro青年部部長

「本日は丸の内TOEIさんの非常に歴史を感じる建物で、映写室に入った瞬間に子供の頃に東映まんがまつりを映写室から観させてもらったような記憶がよみがえって懐かしい気持ちになりました。本日は東映の皆様、本当にありがとうございます。今年も皆さんで映画

を盛り上げていきましょう。」



《丸の内TOEI概要》

1960年9月20日に竣工した東映会館と共に「丸の内東映」と洋画封切館「丸の内東映バラス」が開館。開館公演は沢島忠監督、二代目大川橋蔵主演「海賊八幡船」。1989年3月11日に「丸の内東映バラス」から「丸の内シヤンゼリゼ」に改称。2004年10月に「丸の内TOEI」に名称を統一し、現行の2スクリーン体制に至る。2024年5月15日に東映会館の老朽化を理由に2025年夏を目途に再開発を行うことを発表し、2025年1月16日に東映ラインナップ発表会にて2025年7月27日の閉館を発表した。

■「さよなら 丸の内TOEI」プロジェクト

丸の内TOEI閉館に向けた関連事業を映画興行部のみならず、各部署を横断したメンバーによるチーム編成で全社プロジェクトとして進めている。「劇場へかかわる全ての人への感謝」と「映画館で映画を観る」ことの大切さを改めて訴求すること」をコンセプトに、国内大手の映画配給会社を持つ最後の直営館の64年10ヶ月という長い歴史のグラッドフィナーレを彩る。開幕日の5月9日から、往年の名作から近年の話題作まで80作品以

上の特集上映を予定しており、「網走番外地(65年)」「仁義なき戦い 広島死闘篇(73年)」「銀河鉄道99(79年)」「動乱 第一部 海峡を渡る愛(第2部 雪降り止まず)(80年)」「鉄道員(ぽっぽや)(99年)」「バトル・ロワイアル(00年)」「劇場版 仮面ライダーディケイド オールライダー対大ショッカー(09年)」「さらば あぶない刑事」(16年)、「ONE PIECE FILM RED」(22年)、「レジェンド&バタフライ」(23年)などの作品が一部発表された。5月17日には、活動弁士・坂本頼光、浪曲師・玉川太福、講談師・神田伯山が「清水次郎長をテーマに熱演を繰り広げた後、マキノ雅弘監督作「次郎長三国志(東映版/63年)」を上映する『演芸次郎長三国志』活弁、浪曲、講談で時代劇映画の原点に帰する」イベントを開催。また、「仮面ライダークウガ」放送25周年を記念した「超クウガ展」の開催が決定。6月の東京開催を皮切りに、福岡、名古屋、大阪を1年かけて全国を巡回し、2026年にはアジア圏での開催も予定している。5月24日には、「超クウガ展」に向けて、番組プロデューサー・高寺成紀氏、メインライター・荒川稔久氏、鈴木展弘監督によるトークショーを開催する。

●「演芸次郎長三国志」活弁、浪曲、講談で時代劇映画の原点に帰する

▽日程 5月17日、17時開演、17時30分開演、19時35分演奏終了、19時50分〜21時32分「次郎長三国志」上映、▽登壇 活動弁士・坂本

頼光、浪曲師・玉川太福(曲師玉川みね子)、講談師・神田伯山、▽入場料 一律5500円(税込) ●「超クウガ展」開催記念スタンプトーク付き上

映画クリエイター×映画館×メディア
「I, movie goer」始動

佐々木興業(株)が「映画ファンに、もっと映画館で映画を観てほしい」という想いから立ち上げた「I, movie goer」プロジェクトにおいて、(株)ムービーウォーカーが共同で映画人やクリエイターとのコラボレーション企画を始動した。

映画館で映画を観ることの素晴らしさを伝えるべく、自他共に認める「I, movie goer」であるクリエイターにその想いを聞くと共に、直筆サイン入りのオリジナル「I, movie goer」Tシャツ(税込5500円)を、ブランドシネマサンシャイン池袋と、映画グッズを扱うECサイト「MOVIE WALKER STORE」で販売開始した。第1回は「ゴジラ-1.0」の山崎貴監督に決定し、「MOVIE WALKER PRESS」ではインタビューを掲載。「気軽に映像作品に触れられる次代だからこそ、大きいスクリーンや音響にふさわしい映画であることはすごく意識しています」と作り手としての想いを語る山崎監督の「movie goer」としての映画館にまつわる思い出や、こだわりの座席位置、そして製作映画(仮題)についても語っている。なお、Tシャツは山崎監督が厳選した

映会」▽日程 5月24日(時間未定)、▽登壇 高寺成紀(番組プロデューサー)、荒川稔久(メインライター)ほか、司会 鈴木展弘監督。

メッセージをアートディレクターの石井勇一氏がデザインし、カラー展開はホワイト、ブラック、ライトグレーの3色(サイズはM、L、XL)。

佐々木興業の佐々木武彦代表取締役社長は「movie goer」の日本語訳は映画ファンですが、英語として意味を調べると「someone who goes to see movie」となります。つまりこの言葉の持つ意味は単なる映画ファンではなく、映画館に映画を観に行くファンを指す言葉となります。映画ファンの皆さんに、もっと映画館で映画を観て欲しいという思いから「I, movie goer」という言葉を使った商品を作成しております。昨今様々なデバイスで映画を観ることが可能な世の中になっっている事は間違いありませんが、映画の監督や制作者の方々は、自分たちの作品を映画館という映画に没頭できる環境で、観客に観て欲しいと思っています。そのような制作者の方々の思いに応えるべく、我々映画館はサービスの向上や設備の整備等を怠らず、「movie goers」を映画館にお迎えしたいと思っています」とコメントしている。

仲間を守るため、青春をかけて戦え

BAD BOYS
- THE MOVIE -

豆原一成 (JO1)

池崎理人 (INI) 山中柔太朗 井上想良

主題歌: JO1「Be brave!」(LAPONE ENTERTAINMENT)

5.30 公開





「第18回AFA」香港で授賞式開催
吉田大八監督作「敵」が監督賞受賞
アジア全地域アカデミー賞「第18回アジア・フィルム・アワード(AFA)」の授賞式が3月16日に香港の戯曲センターで開催され、昨年の「東京国際映画祭」で監督賞を含む3冠に輝いた「敵」の吉田大八監督が最優秀監督賞を獲得した。日本人の同賞受賞は3年連続の快挙となった。

また、新人俳優賞は「HAPPY END」の栗原颯人が日本人としては初めて受賞。さらに、俳優の役所広司が、アジアの映画界において永年に亘り功績を残し、多大なる影響を与えた映画人として、AFA特別賞の最高賞にあたる「特別功労賞」を授与され、「ライジング・スター・アワード」をKoki, が受賞した。

▽作賞賞「オール・ウイ・イマジン」(インド/フランス/オランダ/ルルクセンブルク)
▽監督賞「吉田大八(「敵」日本)
▽主演男優賞「ラウ・チンワン(「お父さん」香港)
▽主演女優賞「シャーハーナー・ゴースワミー(「サントーシ」インド/イギリス/フランス/ドイツ)
▽助演男優賞「リリー・カーション(「黙殺録」シンガポール/台湾/フランス/アメリカ)
▽助演女優賞「ヤン・クイメイ(「エン・アンド・アイリー」(原題)「台湾」)
▽新人監督賞「サンディヤ・スリ(「サントーシ」インド/イギリス/フランス/ドイツ)
▽新人俳優賞「栗原颯人(「HAPPY END」日本/アメリカ)
▽脚本賞「モハメド・ラスロフ(「聖なるイチジクの種」イラン/ドイツ/フランス)
▽衣装デザイン賞「チェ・ユンソン(「パミヨ/破墓」韓国)
▽美術賞「ケネス・マク／CHAUSai Huing Ambrose(「トワイライト・ウォリアーズ 決戦!九龍城砦」香港)
▽編集賞「チュン・カーファイ(「トワイライト・ウォリアーズ 決戦!九龍城砦」香港)
▽フィルム賞「YOLLO 百元の恋(中国)

「MOVIX広島駅」3月24日開業
「MOVIX広島駅」は、広島県広島市の広島駅南口新駅ビル「ミナモ」内に「MOVIX広島駅」(9スクリーン、1387席)を3月24日に開業した。

城砦(香港)
▽撮影賞「ホン・ギョング(「ハルビン」(原題)「韓国」)
▽音楽賞「ワンピン・チュン(「ラスト・ダンス」香港)
▽視覚効果賞「キム・シンチュル/「ダニエル・ソン」(「パミヨ/破墓」韓国)
▽音響賞「ドウ・ドゥーチ/「TUTse-Kang」(「黙殺録」シンガポール/台湾/フランス/アメリカ)
▽特別功労賞「役所広司(日本)
▽エクセレンス・イン・アジア「シネマ・アワード」チャン・ドンゴン(韓国、タン・ウエイ(中国)
▽AFAネットワーク・ジュネレーション賞「ウー・カンレン(台湾)
▽AFAライジング・スター賞「Koki, (日本)
▽2024ハイエスト・グロッシング・アジア・フィルム賞「YOLLO 百元の恋(中国)

「MOVIX広島駅」は、通常座席の約2倍のスペースが確保されている。さらに、「フラットシート」は、3つのシアターの最前列に設置し、自宅のソファでくつろいでいるような快適さを追求して設計されている。この他、県内映画館で初となる「ドリンクバー」も導入しており、スマホでメニューからオーダー可能なセルフオーダー機「シネマスマートオーダー」も完備している。

全米週末ランキング (3月14日～4月13日)
■3月14日～16日
ジャック・クエイドが痛みを感じない男を演じるアクション・コメディ「Mr. ノボカイン」(東和ピクチャーズ配給、6月20日公開)が1位で初登場。人質にとられた恋人を救うため、気弱でマジメな銀行員が無痛の体を武器に強盗に立ち向かう。2位にはステイヴン・ソダーバーグ監督、ケイト・ブランシェット&マイケル・ファスベンダー主演のスパイ映画がランクイン。この他新作では、5位に「ルーニー・チュンズ」のダフィー・ダックとボーギー・ピッグを主人公にしたアニメーション、6位にイエス・キリストと弟子たちの最後の晩餐を題材にしたドラマが初登場した。

■3月28日～30日
「ピーキーパー」のデヴィッド・エア監督とジェイソン・ステイサムが再びタッグを組んだアクション・スリラーが1位で初登場。脚本はエア監督とシルヴェスター・スタローンが手掛けている。3位に宗教ドラマ「The Chosen」のシーズン5を3部作に分けて上映する第1弾がランクイン。以下6位まで新作が続ぎ、ジェイソン・ブラム製作、ジャウマ・コレット監督のホラーが4位、ポール・ラッドとジェナ・オルテガが親子を演じるA24のホラー・コメディが5位、4Kレストア版としてIMAXで公開された宮崎駿監督の「もののけ姫」(東宝配給)が6位に初登場した。

■4月4日～6日
世界的人気ゲームを実写化した「マインクラフト／ザ・ムービー」(WB配給、4月25日公開)が今年公開作品で最高のオープニング成績をあげ、1位に初登場した。監督はジャレッド・ヘス、出演はジェイソン・モモア、ジャック・ブラック、他。3位には「The Chosen」のシーズン5を3部作に分けて上映する第2弾がランクイン。8位には「僕らの世界が交わるまで」で共演したフィン・ウォルフハードとビリー・ブリックが監督デビューを飾ったホラー・コメディが初登場。また、ベストセラー小説「友達」をナオミ・ワッツとビル・マーレイの共演で映画化したドラマが拡大公開され9位にランクイン。

《全米週末ランキング(3月14日～3月16日)》

作品	全米配給	週末\$	%	週	館	Ave	累計\$
1 Mr. ノボカイン	パラマウント	8,809,436	0%	1	3365	2,618	8,809,436
2 Black Bag	フォーカス・フィーチャーズ	7,607,250	0%	1	2705	2,812	7,607,250
3 ミッキー17	WB	7,435,030	-61%	2	3807	1,953	33,212,062
4 キャプテン・アメリカ:ブレイブ・ニュー・ワールド	ディズニー	5,693,168	-32%	5	3250	1,752	185,611,080
5 The Day the Earth Blew Up: A Looney Tunes Movie	フォーリング・フォワード	3,158,830	0%	1	2827	1,117	3,158,830
6 The Last Supper	エミット	2,777,234	0%	1	1575	1,763	2,777,234
7 バディント 消えた黄金郷の秘密	ソニー	2,677,646	-28%	5	2489	1,076	41,220,512
8 Dog Man	ユニバーサル	2,545,010	-25%	7	2407	1,057	92,862,675
9 The Monkey	ネオン	2,488,551	-36%	4	2294	1,085	35,235,567
10 Last Breath	フォーカス・フィーチャーズ	2,296,580	-44%	3	2661	863	18,559,400

《全米週末ランキング(3月21日～3月23日)》

作品	全米配給	週末\$	%	週	館	Ave	累計\$
1 白雪姫	ディズニー	42,206,415	0%	1	4200	10,049	42,206,415
2 Black Bag	フォーカス・フィーチャーズ	4,260,110	-44%	2	2713	1,570	14,740,375
3 キャプテン・アメリカ:ブレイブ・ニュー・ワールド	ディズニー	4,024,207	-29%	6	2900	1,388	192,041,598
4 Mr. ノボカイン	パラマウント	3,683,405	-58%	2	3369	1,093	15,692,467
5 ミッキー17	WB	3,679,656	-51%	3	2584	1,424	40,001,210
6 The Alto Knights	WB	3,165,349	0%	1	2651	1,194	3,165,349
7 The Day the Earth Blew Up: A Looney Tunes Movie	フォーリング・フォワード	1,878,560	-41%	2	2703	695	6,500,687
8 The Monkey	ネオン	1,508,053	-39%	5	1452	1,039	37,821,788
9 Dog Man	ユニバーサル	1,486,620	-42%	8	1766	842	95,617,165
10 The Last Supper	エミット	1,344,560	-52%	2	1575	854	5,334,994

《全米週末ランキング(4月4日～4月6日)》

作品	全米配給	週末\$	%	週	館	Ave	累計\$
1 マインクラフト／ザ・ムービー	WB	162,753,003	0%	1	4263	38,178	162,753,003
2 A Working Man	アマゾンMGM	7,335,794	-53%	2	3262	2,249	27,875,742
3 The Chosen: Last Supper (Season 5) Part 2	ファゾム・エンタテインメント	7,281,733	0%	1	2131	3,148	7,281,733
4 白雪姫	ディズニー	5,940,821	-59%	3	3750	1,584	77,316,291
5 The Woman in the Yard	ユニバーサル	4,518,720	-52%	2	2845	1,588	16,685,705
6 Death of a Unicorn	A24	2,532,098	-55%	2	2995	845	10,355,727
7 The Chosen: Last Supper (Season 5) Part 1	ファゾム・エンタテインメント	1,903,187	-85%	2	1592	1,195	18,687,013
8 Hell of a Summer	ネオン	1,765,814	0%	1	1255	1,407	1,765,814
9 The Friend	フリーカー・ストリート	1,647,049	2335%	2	1237	1,331	1,725,999
10 キャプテン・アメリカ:ブレイブ・ニュー・ワールド	ディズニー	1,354,070	-54%	8	1750	774	199,081,549

《全米週末ランキング(3月28日～3月30日)》

作品	全米配給	週末\$	%	週	館	Ave	累計\$
1 A Working Man	アマゾンMGM	15,510,312	0%	1	3262	4,755	15,510,312
2 白雪姫	ディズニー	14,331,715	-66%	2	4200	3,412	66,946,298
3 The Chosen: Last Supper (Season 5) Part 1	ファゾム・エンタテインメント	12,184,898	0%	1	2318	5,257	12,285,937
4 The Woman in the Yard	ユニバーサル	9,395,255	0%	1	2842	3,306	9,395,255
5 Death of a Unicorn	A24	5,676,542	0%	1	3050	1,861	5,676,542
6 もののけ姫 4K	GKIDS	3,871,049	0%	1	330	11,730	3,871,049
7 キャプテン・アメリカ:ブレイブ・ニュー・ワールド	ディズニー	2,923,352	-27%	7	2380	1,228	196,678,620
8 Black Bag	フォーカス・フィーチャーズ	2,196,620	-48%	3	2065	1,064	18,753,800
9 ミッキー17	WB	1,934,800	-47%	4	1648	1,174	43,600,141
10 Mr. ノボカイン	パラマウント	1,475,428	-60%	3	2273	649	18,809,349

《全米週末ランキング(4月11日～4月13日)》

作品	全米配給	週末\$	%	週	館	Ave	累計\$
1 マインクラフト／ザ・ムービー	WB	78,503,124	-52%	2	4289	18,303	278,864,857
2 The King of Kings	エンジェル・スタジオ	19,371,296	0%	1	3200	6,054	19,371,296
3 アマチュア	20th センチュリー・スタジオ	14,802,849	0%	1	3400	4,354	14,802,849
4 Warfare	A24	8,174,214	0%	1	2670	3,062	8,174,214
5 Drop	ユニバーサル	7,397,015	0%	1	3085	2,398	7,397,015
6 The Chosen: Last Supper (Season 5) Part 3	ファゾム・エンタテインメント	6,328,758	0%	1	2296	2,756	6,328,758
7 A Working Man	アマゾンMGM	3,003,335	-59%	3	2672	1,124	33,464,527
8 白雪姫	ディズニー	2,894,625	-51%	4	2540	1,140	82,015,505
9 The Woman in the Yard	ユニバーサル	2,099,470	-54%	3	2134	984	20,352,330
10 The Chosen: Last Supper (Season 5) Part 2	ファゾム・エンタテインメント	963,062	-87%	2	672	1,433	11,458,321

名探偵

コナン

せき

が

残像

フラッシュバック

4.18

ROADSHOW

One-eyed Flashback CONAN

配給○東宝 ©2025 青山剛昌/名探偵コナン製作委員会 TOHO